



## 誘導加熱製造業としての心構え

福原 哲一 一般社団法人  
日本エレクトロヒートセンター 理事

1946年の創業から今年で66年目を迎えております当社は、鋼材を電磁誘導作用によって加熱処理する「IH技術」を事業の最大の基盤としてきました。「IH技術」はご存じのとおり、必要な部分のみ効率よく加熱できる「省エネ」原理を持ち、金属性質高強度化による素材減量、熱変形歪を抑えることによる前後工程を含めた工数低減などの「省資源化」につながります。加熱処理時に空気を汚さない「環境にやさしい」技術です。生産性の高いIH技術は、さまざまな産業分野のお客さまから長年にわたってご支持をいただけてきました。

我が社のような小さな企業が継続的發展を維持していくためには、社会からの信頼を得ることが一番であり、その為には常に以下のことを念頭に置いて経営に携わっています。

- ① 社会に必要とされる製品・設備を
  - ② 顧客に満足していただける形で提供し、
  - ③ 結果として社員が満足感と誇りを持つ
- ① ・社会が必要としているものを遅滞なく供給すること。
    - ・部品メーカー・生産設備メーカーとして、製品の安定供給は Netzlen の供給責任。
    - ・新商品・新規事業の育成と実現。グローバル事業の推進。
    - ・環境への配慮・地域社会への貢献。
  - ② ・顧客は今何を望んでいるかに迅速に応えること。
    - ・顧客の信頼・信用を得るには。顧客が「よし、もう一度 Netzlen 商品を買ってやろう」と思うのは？
    - ・末永くお付き合いいただけるには？
      - 高性能高品質 必要性・有用性。
      - 顧客の要求・要望に対して愚直で良い、製品に対するひたむきで真摯な、誠実な取り組み姿勢。
    - 設備販売部門では、客先での据付・稼働後の設備不具合による突発対応・メンテ等にも誠実に対応。顧客の「ご苦勞様。」「頼りにしてるよ。」という言葉が一番うれしい。
  - ③ ・創業以来受け継がれてきた「技術」へのこだわり。
    - ・全ての従業員が「仕事が面白い」と思える企業風土。社員の仕事の達成感。
    - ・常に新しいことへの自らのチャレンジ。
    - ・人財の育成。若い世代への技術の引き継ぎ

社会に対して高い価値を提供することにより、社会からの信頼を得る。その姿勢なしには企業として持続していくことはできないことを、66年の歩みの中で強く実感してきました。今後も、これまでに蓄積してきた技術やノウハウを活かして、さらなる省エネ・省資源「ダブル・エコ」に結びつく、環境にやさしい技術・製品の開発に取り組んでいきます。

現在日本のみならず、中国をはじめ海外での事業展開を加速させています。地球温暖化、環境汚染、資源枯渇などの課題に対して、Netzlenの技術が活かされると信

じています。そこでも現地の社会に大きく貢献し、これまで日本で着実に築いてきたのと同様に進め方を変えることなく、現地の人々との確固たる信頼を構築することを最重要課題と捉えて取り組んでいきます。海外で仕事を進めてみてやはり日本人の仕事の進め方は人気・信頼があるように肌で感じています。

閑題) さて、世界で所変われば生き方や考え方も変わるようで、もちろん以下の話は冗談ですが。

船が遭難して3人の外国人が孤島に流された。

イタリア人は余暇を楽しみだし、

日本人は島の中を探索し、助かる方法はないかと真剣に搜索しだした。

最後の一人は「この島は我国固有の領土である。」と主張しだした。中国人である。

我社はいつまでも典型的な日本人でありたいと思っています。